

筑波大学院 人文社会科学 科学研究科 哲学・思想専攻 主催／パスカル研究会 共催
第三回 フランス語によるフランス哲学セミナー

フランソワ・ド・サルによる瞑想

講師 エレーヌ・ミシヨン (仏国 フランソワ・ラブレール 大学 上級准教授)

司会 望月ゆか (武蔵大学 教授) / 津崎 良典 (筑波大学 准教授)

日時 二〇一七年 二月 一五日 (水) 一六時から一八時半まで

場所 筑波大学 東京キャンパス 五五七七ゼミ室 (五階)

助成 日本学術振興会 科学研究費補助金 (研究課題番号 15H03150)

ミシヨン氏はパスカルならびにポール・ロワヤル派について、とりわけ神学・哲学と文学の結節点を、また、フランソワ・ド・サルについては、中世から近世へと至る霊性史の流れにおけるその独自性をそれぞれ解明する研究を精力的に進めている気鋭の研究者。代表作に『心情の秩序——パスカル『パンセ』における哲学、神学、そして神秘主義』(一九九六年 Honoré Champion 社)、『フランソワ・ド・サル——新しい神秘主義』(二〇〇八年 Cett社)がある(いずれも未邦訳)。

二年目を迎えた科研費基盤B研究課題「中世後期から近世初期までの(メディアタチオ)に関する国際協働による哲学史的総合研究」(研究代表者・谷川多佳子)の一環として、日本ではまだ良く知られていないサルの代表作『信心生活入門』(一六〇八年)ならびに『神愛論』(一六一六年)について、霊性論という観点から縦横無尽に解説頂く。初来日。

セミナーはフランス語による。また、フランス語のセミナー原稿の複写物を配布予定。事前予約不要かつ無料にて受講歓迎。お問い合わせは、津崎良典 (tsuzaki.yoshinori.gn@u.tsukuba.ac.jp) まで電子メールにて。

